

エコ.エコ (ecology. economy)

特定非営利活動法人



「カエルの合唱」

ドイツ民謡の「カエルの合唱」は輪唱の面白さを伝える曲で今も子供たちが大好きな歌です。この歌が日本中に広まったころは本物の蛙の声も聞こえていたのではないのでしょうか。近年田んぼが減ってきている見沼田んぼでは、蛙の声が聞こえなくなると農家の方々が話していました。人々の暮らし方が変わり、草取り作業の軽減や害虫を減らすという名目のため、農薬が使われるようになりました。農薬はカエルが減る一因となりました。農薬の危険性は魚によって調べられたのですが、カエル等の両生類で調べるのが少なかったようです。オゾン層の変化、環境の悪化を素早く教えてくれるカエルの生活環境を大切にすることは意味あることです。ドイツではカエルの減少を心配した人たちの声が、自然保護への波を起こしました。

見沼田んぼのカエルたち

アマガエル



トウキョウダルマガエル



かえるのうたがきこえてくるよ
くわ くわ くわ くわ
けけけけ けけけけ
くわ くわ くわ
この声が大きな大きな輪唱になることを願っています。

加倉井 範子

Ganze Sommer nächtelang, hören wir den Frosch gesang;
quak quak quak quak,
kae kae kae kae kae kae kae kaek
quak quak quak.

アカガエル



アカガエル卵塊



アズマヒキガエル



アズマヒキガエル卵塊



アカガエル

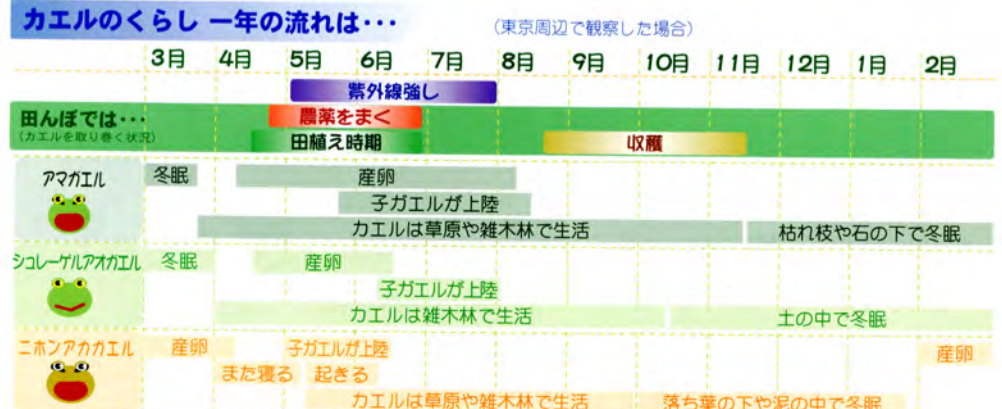
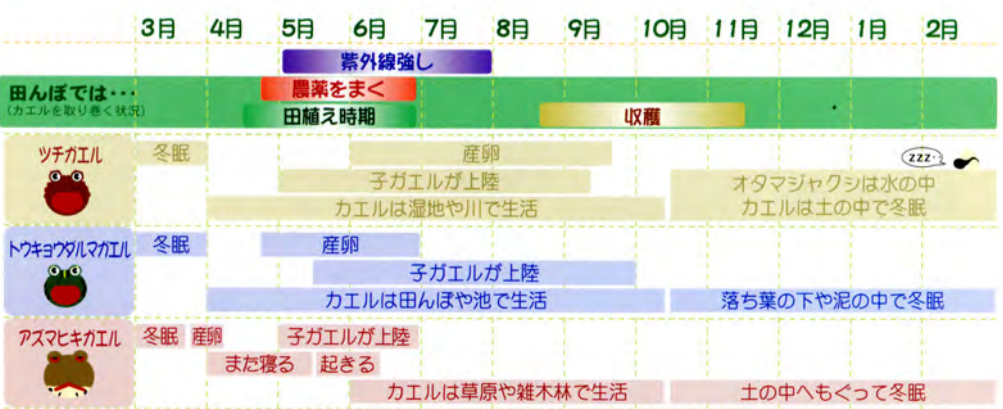
本州、四国、九州に分布する日本固有亜種。体長は 50mm ほどで、♀が大きい。体型はヤマアカガエル、タゴガエル、ナガレタゴガエルによく似ている。喉は白または淡樟色で無紋。鼓膜があり、背側線がまっすぐである。卵塊は透明で、卵は黒・白2色に分かれている。県内の低地帯から台地・丘陵帯にかけて幅広く分布する。中川・加須低地、大宮台地の一部、荒川水系の支流、本川中流域に残る旧流路沿い、狭山丘陵、加治丘陵、比企丘陵の一部など、生息地が限定され、減少傾向が続いている。2月ごろから田圃、溜池にまとめて産卵する。卵数は最も多く、200個を超えることが多い。産卵後、春眠して雑木林等へ移動することが多い。今後最も危惧される種である。池沼沢や水田及び周辺森林の消失と乾燥化は強い脅威となる。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/uploaded/attachment/351297.pdf>

アズマヒキガエル

世間では、ガマガエルと呼ばれている大型のカエルで、ニホンヒキガエルの亜種。体中にいぼがあり、鼓膜の後ろにある耳線からは、毒液を分泌する。産卵期は、地域によって異なるが2月から7月におよぶ。(関東地方は、2-3月)産卵中は、ガマ合戦(八王子の真覚寺の池は、芭蕉も訪れたことのある名所)と呼ばれるほど壮絶な争いが見られる。生み出された卵塊は、5m以上にもなる長いひも状。変態は、ほぼ同時期にするので産卵場の周りには大量の子ガエルが見られる。この子ガエルは体長が10mmにも満たなく、色もほぼ真っ黒である。また、親ガエルとはサイズも極端に違うので同種と思われず、知らない人には珍しいカエルに見える。因みに、他のヒキガエルでも同様の子ガエルが見られるので画像だけで種を判別するのは困難。

<http://www.hkr.ne.jp/~rieokun/frog/azuma.htm>



kaerunomaru 新聞

特定非営利活動法人

2013年度のご協力ありがとうございました。2014年度もよろしくお願いたします。

法人が活動が開始し1年がたちました。2013年度の活動を振り返りました。

環境保全活動事業

従事者	
見沼湿地保全活動	176名
原風景再現事業	18名
里山再生	9名



保全作業



看板

さいたま市南部領辻三角下の非耕作地はクズで覆われていました。ここにはひっそりと生活して助けを求める生き物たちがたくさんいました。

調査・研究事業

見沼湿地動植物調査	5名
民家園動植物調査	2名



植生調査



ノハナショウブ



ノアザミ

ノハナショウブ
荒れ野の貴婦人のようです
ノアザミ
都会では滅多に目にかけられません。

観察会及び学習・教育事業

自然観察会・チャレンジ	
スクール	80名
参加者	377名



バッタを捕まえよう



地球っ子くらぶ



樹木ウォッチング

自然観察会や地球っ子クラブなどとコラボレーションを行いました。

情報交換の場の提供事業

展示を行い多くの人に自然を理解してもらう 20名



セキモト展示会



リース作り講習

情報交換の場の提供や講習会をおこなうことによって多くの人々に自然を知ってもらう試みを行いました。

環境美化活動事業

見沼景観保全地区	
ゴミ拾い	9名



ゴミ拾い



堤防植物保護

土地改良区と農林振興センターにお願いしてススキなどの貴重な植生を保存してもらいました。



kaerunomaru の旗を作りました。目立つ良い旗です。

講演会・イベント事業

設立記念講演会	1名
参加者	37名
自然素材工作	12名
参加者	約300名



獨協学園獨協中等学校の環境教育のエキスパートの塩瀬治先生にさいたま市のコムナーレに来ていただきドイツの環境教育のお話を伺いました。



「パド」主催のステラタウンの催しに参加しました。多くの人々に自然素材の工作を楽しんでもらいました。



mannen カレンダー
曜日のないカレンダーです。